

2006年3月期
中間決算説明資料

2005年11月10日
株式会社 商船三井

目次

2006年3月期 中間決算の要点	2
2006年3月期 中間決算概要	4
連結セグメント情報	5
連結 売上高・経常利益 前年同期比増減要因分析	6
2006年3月期 業績予想の要点	7
2006年3月期 通期見通し	8
連結 セグメント別通期見通し	9
[補足資料]	
連結営業外・特利損／単体運航費	11
(参考) Containerization International “Freight Rates Indicators”	12
コンテナ船 平均運賃・稼動TEU推移	13
主要コンテナ船航路消席状況・見通し	14
自動車輸送台数	15
MOL STEP Review 利益目標	16
キャッシュフロー 設備投資	17
MOL SETP Review 財務目標	18
コスト削減計画	19

2006年3月期中間決算の要点

- 燃料油価格高騰等(*)の逆風を押して、対前年同期比 増収増益、

売上高	+728億円(+13%)
経常利益	+242億円(+33%)
当期純利益	+149億円(+32%)

(*) 対前年同期比 燃料油価格 + US\$62/MT、為替 ¥0.97/US\$ 円高
= 105億円の経常減益効果

[対「第一四半期決算時(8月)見込み」比 経常利益 +55億円]

- セグメント別 (増減比較は対前年同期比)

コンテナ船事業 : コスト増(燃料油、内陸鉄道料金、ターミナル費用等)

< 積取り増(+11%) + 運賃上昇(+5%) + コスト削減

⇒ 増益

不定期専用船事業 : 新造船投入効果、国内外での中・長期契約 / スポット契約のバランス良い拡大

⇒ 大幅増益

【自動車船部門】 積取り堅調なるも、燃料油価格高騰 ⇒ 若干減益

【ドライバルク部門】

- 市況： 約3割Down
 - 新造船投入、長期契約拡大、高船価船返船、
市況に応じて有利COA・スポット契約を獲得
- ⇒大幅増益

【油送船部門】

- 市況： 原油船=Down、プロダクト船=Up
 - 新造船投入、長期契約・海外商権拡大、等
- ⇒増益

【LNG船部門】 長期契約による安定収益の積み上がり ⇒ 増益

ロジスティクス事業： 黒字基調を確立

フェリー・内航事業： 増収なるも、燃料油価格高騰により減益

関連事業： ダイビル連結子会社化('04年10月)で + 55億円
⇒ 大幅増益

➤ 1株当たり9円の間配当を実施

2006年3月期 中間決算概要

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		'06年3月期			'05年3月期 上期実績	増減	'05/8/4 1Q決算時予想	増減
		1Q実績	2Q実績	上期実績				
売上高	連結	3,083	3,281	6,364	5,636	+728	6,150	+214
	単体	2,436	2,577	5,013	4,540	+473	4,900	+113
営業利益	連結	464	489	953	732	+221	900	+53
	単体	359	369	728	599	+129	680	+48
経常利益	連結	492	492	985	742	+242	930	+55
	単体	364	348	711	596	+116	700	+11
当期純利益	連結	311	307	618	469	+149	570	+48
	単体	224	215	440	377	+63	430	+10

為替(期中平均) ¥106.79/\$ ¥110.43/\$ **¥108.61/\$** ¥109.58/\$ Δ ¥0.97/\$ ¥108.40/\$ $+\Delta$ 0.21/\$
 燃料単価(期中平均) \$238/MT \$252/MT **\$245/MT** \$183/MT $+\$62/MT$ \$254/MT Δ \$9/MT

経常利益 Δ 105億円

経常利益 $+16$ 億円

(為替) Δ 24億円 x1/2

(為替) $+5$ 億円 x1/2

(燃料単価) Δ 186億円 x1/2

(燃料単価) $+27$ 億円 x1/2

(参考)

為替Sensitivity 年間 (2005年度) \pm 25.0億円/1¥ (最大)

燃料単価Sensitivity 年間 (2005年度) \pm 3.0億円/1\$ (最大)

(連結経常損益ベース)

連結セグメント情報

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		'06年3月期			'05年3月期 上期実績	増減	'05/8/4 1Q決算時予想	増減
		1Q実績	2Q実績	上期実績				
コンテナ船事業	売上高	1,038	1,141	2,180	1,925	+255	2,100	+80
	経常利益	116	197	313	242	+72	255	+58
不定期専用船事業	売上高	1,554	1,617	3,170	2,883	+288	3,100	+70
	経常利益	351	281	631	487	+145	625	+6
ロジスティクス事業	売上高	145	151	296	294	+2	285	+11
	経常利益	3	4	6	3	+4	6	+0
フェリー・内航事業	売上高	118	128	246	225	+20	240	+6
	経常利益	△ 1	5	4	8	△ 5	5	△ 1
関連事業	売上高	213	228	442	268	+174	400	+42
	経常利益	30	34	64	10	+55	55	+9
その他事業	売上高	14	16	30	41	△ 10	25	+5
	経常利益	11	△ 0	11	14	△ 3	12	△ 1
消去・全社	売上高	-	-	-	-	-	-	-
	経常利益	△ 18	△ 28	△ 46	△ 21	△ 25	△ 28	△ 18
連結	売上高	3,083	3,281	6,364	5,636	+728	6,150	+214
	経常利益	492	492	985	742	+242	930	+55

*「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

連結 売上高・経常利益 前年同期比増減要因分析

●売上高	(内 単体; 億円)	【億円未満切捨て】
円高	△44億円	(△39)
積取り増・運賃上昇	+535億円	(+403)
その他	+236億円	(+109)
<hr/>		
(合計)	+727億円	(+472)
●経常利益	(内 単体; 億円)	
円高	△12億円	(△11) (当期¥108.61/\$; ¥0.97/\$の円高)
燃料油価格上昇	△93億円	(△62) (当期\$245/MT; \$62/MT上昇)
積取り増・運賃上昇	+282億円	(+216)
コスト削減	+41億円	(+35)
持分法投資損益改善	+36億円	(0)
その他 (消去又は全社含む)	△12億円	(△62)
<hr/>		
(差し引き)	+242億円	(+116)

2006年3月期 業績予想の要点

➤ 通期業績予想を上方修正

	予算(5月)	1Q時(8月)	中間決算時(11月*)
経常利益	1,800億円	→ 1,840億円	→ 1,900億円
当期純利益	1,130億円	→ 1,150億円	→ 1,200億円

(*)前提(下期): 燃料油価格 US\$300/MT、為替 ¥115/US\$

➤ セグメント別 (増減比較は経常利益の対1Q時比)

コンテナ船事業 : 通期 据え置き (上期 +58億円 / 下期△58億円)

- ← 運賃市況堅調の一方、燃料油価格一段高
(会計基準の影響 = 下期に+32億円計上)

不定期専用船事業 : 通期 +115億円 (上期 +6億円 / 下期 +109億円)

- ← {ドライバルク: 市況回復、損益確定順調
油送船: 原油船市況回復、プロダクト船市況高騰

全社・消去 : 通期 △66億円 (上期△18億円 / 下期△48億円)

- ← 為替リスクヘッジによる差損等

2006年3月期通期見通し

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		'06年3月期			'05年3月期 通期	増減	'05/8/4 1Q決算時予想	増減
		上期実績	下期見込み	通期見通し				
売上高	連結	6,364	7,136	13,500	11,733	+1,767	12,700	+800
	単体	5,013	5,787	10,800	9,430	+1,370	10,200	+600
営業利益	連結	953	937	1,890	1,718	+172	1,800	+90
	単体	728	742	1,470	1,419	+51	1,390	+80
経常利益	連結	985	915	1,900	1,750	+150	1,840	+60
	単体	711	749	1,460	1,457	+3	1,460	+0
当期純利益	連結	618	582	1,200	983	+217	1,150	+50
	単体	440	460	900	770	+130	890	+10

為替(期中平均)	¥108.61/\$	¥115.00/\$	¥111.81/\$	¥107.75/\$	+¥4.06/\$	¥109.20/\$	+¥2.61/\$
燃料単価(期中平均)	\$245/MT	\$300/MT	\$273/MT	\$193/MT	+¥80/MT	\$262/MT	+¥11/MT
				経常利益	△139億円	経常利益	+32億円
				(為替)	+102億円	(為替)	+65億円
				(燃料単価)	△240億円	(燃料単価)	△33億円

(参考)

為替Sensitivity	年間	(2005年度)	±25.0億円/1¥	(最大)
燃料単価Sensitivity	年間	(2005年度)	±3.0億円/1\$	(最大)
(連結経常損益ベース)				

連結 セグメント別通期見通し

(単位: 億円、億円未満四捨五入)

		'06年3月期			'05年3月期 通期実績	増減	'05/8/4 1Q決算時予想	増減
		上期実績	下期見込み	通期見通し				
コンテナ船事業	売上高	2,180	2,770	4,950	3,991	+959	4,550	+400
	経常利益	313	217	530	556	△26	530	+0
不定期専用船事業	売上高	3,170	3,380	6,550	5,966	+584	6,250	+300
	経常利益	631	699	1,330	1,151	+179	1,215	+115
ロジスティクス事業	売上高	296	319	615	580	+35	615	+0
	経常利益	6	11	17	9	+8	17	+0
フェリー・内航事業	売上高	246	234	480	454	+26	460	+20
	経常利益	4	△3	1	2	△1	6	△5
関連事業	売上高	442	408	850	666	+184	780	+70
	経常利益	64	56	120	50	+70	107	+13
その他事業	売上高	30	25	55	76	△21	45	+10
	経常利益	11	9	20	20	+0	18	+2
消去・全社	売上高	-	-	-	-	-	-	-
	経常利益	△46	△72	△118	△37	△81	△53	△65
連結	売上高	6,364	7,136	13,500	11,733	+1,767	12,700	+800
	経常利益	985	915	1,900	1,750	+150	1,840	+60

*「売上高」は外部顧客に対する売上高を表示

[補足資料]

連結 営業外・特利損／単体運航費

[億円未満切捨て]

1. 連結 営業外収益・費用明細

(2006年3月期 中間期)

(億円)

		(単体)			(単体)
営業外収益		137	(48)	営業外費用	
うち:				うち:	
受取利息	11	(10)	支払利息	72	(20)
受取配当金	13	(30)	為替差損	11	(27)
持分法投資利益	87	-	その他営業外費用	22	(16)
為替差益	-	-			
その他営業外収益	24	(7)			

2. 連結 特別利益・損失明細 (2006年3月期 中間期)

(億円)

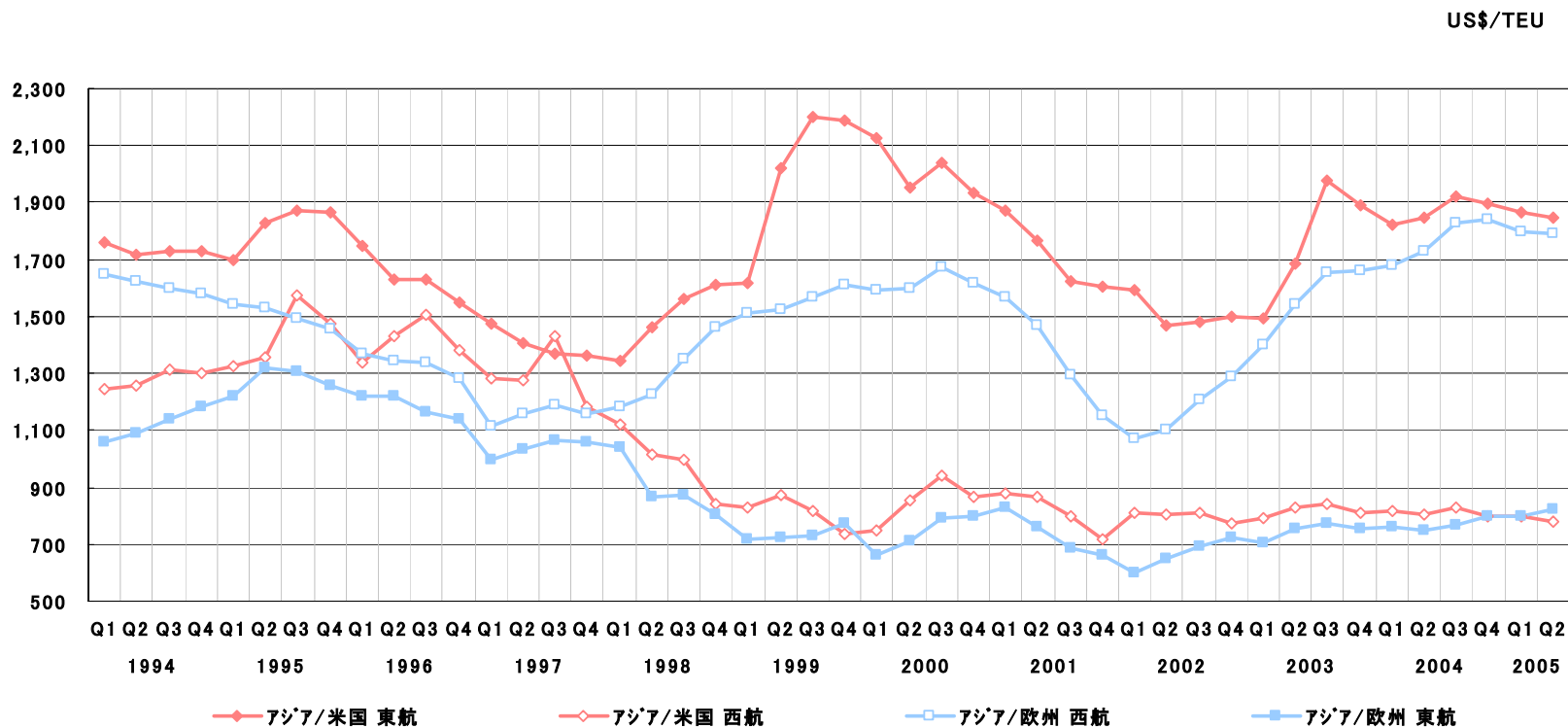
		(単体)			(単体)
特別利益		41	(25)	特別損失	
うち:				うち:	
船舶売却益	22	(2)	その他固定資産除売却損	8	(8)
投資証・関係会社株売却益	5	(5)	投資証・関係会社株評価損	1	(0)
その他固定資産売却益	3	(8)	減損損失	11	(11)
その他特別利益	10	(9)	その他特別損失	15	(3)

3. 単体 運航費明細

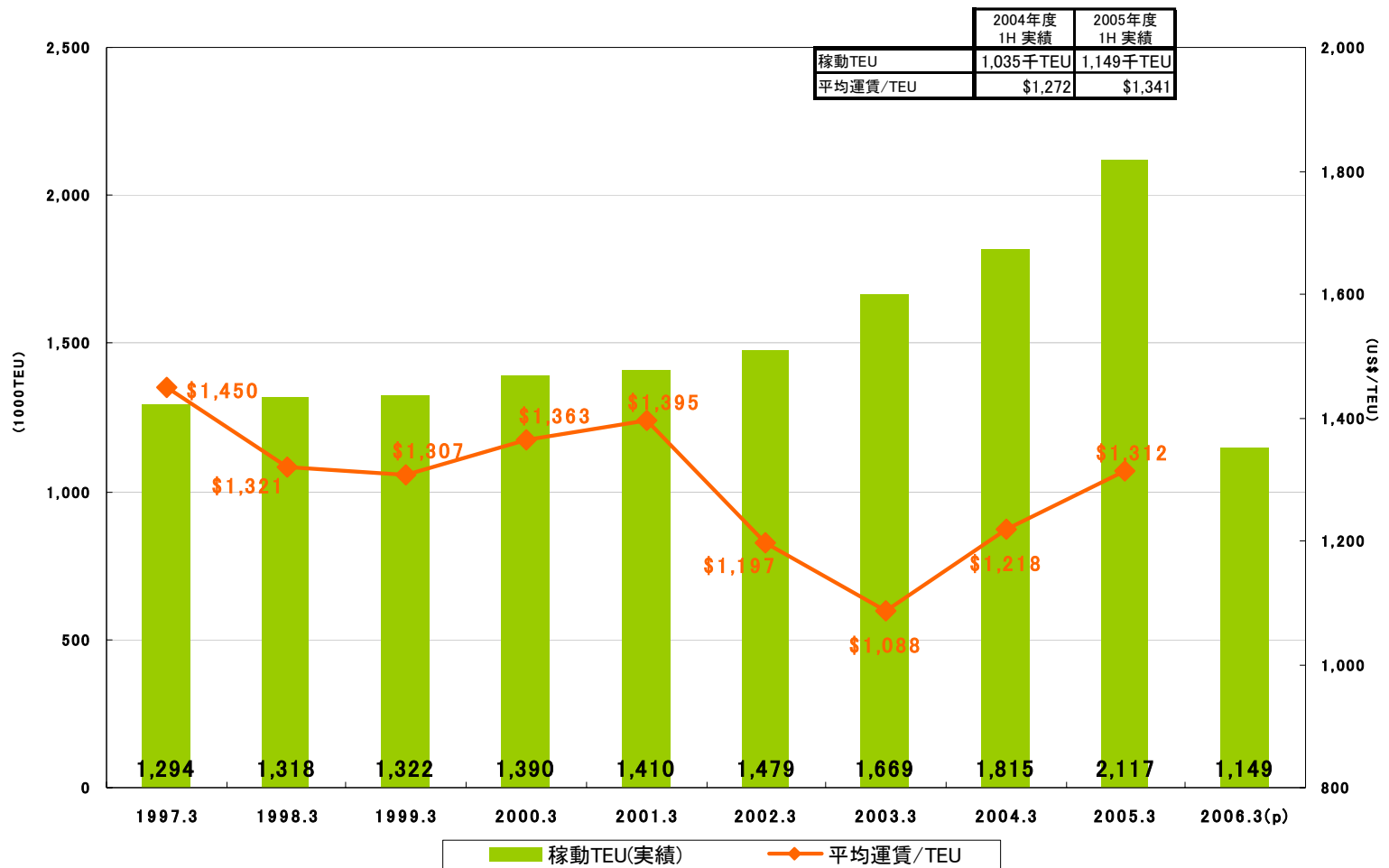
(百万円)

	2006年3月期中間期	2005年3月期中間期
港費	28,943	28,688
貨物費計	77,524	79,509
内訳: 荷役費及び接続費	7,127	6,354
歩金仲介料	9,180	14,391
一般貨物費	61,218	58,763
燃料費	65,181	46,227
雑費	844	1,294
合計	172,492	155,717

(参考) Containerization International “Freight Rates Indicators”



コンテナ船 平均運賃・稼動TEU推移



主要コンテナ船航路 消席状況・見通し

(単位:1000TEU)

北米航路(アジア/北米)

	往航						復航							
	保有		稼働		消席率		保有		稼働		消席率			
2005年度	下期	第4四半期												
	上期	第3四半期												
2004年度	下期	第4四半期	142	271	132	247	93%	91%	139	268	55	114	40%	42%
		第3四半期	129		115		89%		129		59		46%	
	上期	第4四半期	121	257	107	236	89%	92%	120	256	52	102	43%	40%
		第3四半期	135	499	129	458	95%	92%	136	498	50	205	37%	41%
2004年度	上期	第2四半期	130	243	120	222	92%	91%	130	242	46	103	36%	42%
		第1四半期	112		102		90%		112		57		50%	

欧州航路(アジア/欧州)

	往航						復航							
	保有		稼働		消席率		保有		稼働		消席率			
2005年度	下期	第4四半期												
	上期	第3四半期												
2004年度	下期	第4四半期	84	169	80	163	96%	96%	84	169	58	117	69%	69%
		第3四半期	85		82		97%		85		59		69%	
	上期	第4四半期	87	173	82	161	95%	93%	87	173	56	112	64%	65%
		第3四半期	86	331	79	316	92%	96%	86	331	56	229	65%	69%
2004年度	上期	第2四半期	81	158	79	155	97%	98%	81	158	57	117	71%	74%
		第1四半期	77		76		99%		77		60		78%	

全航路計

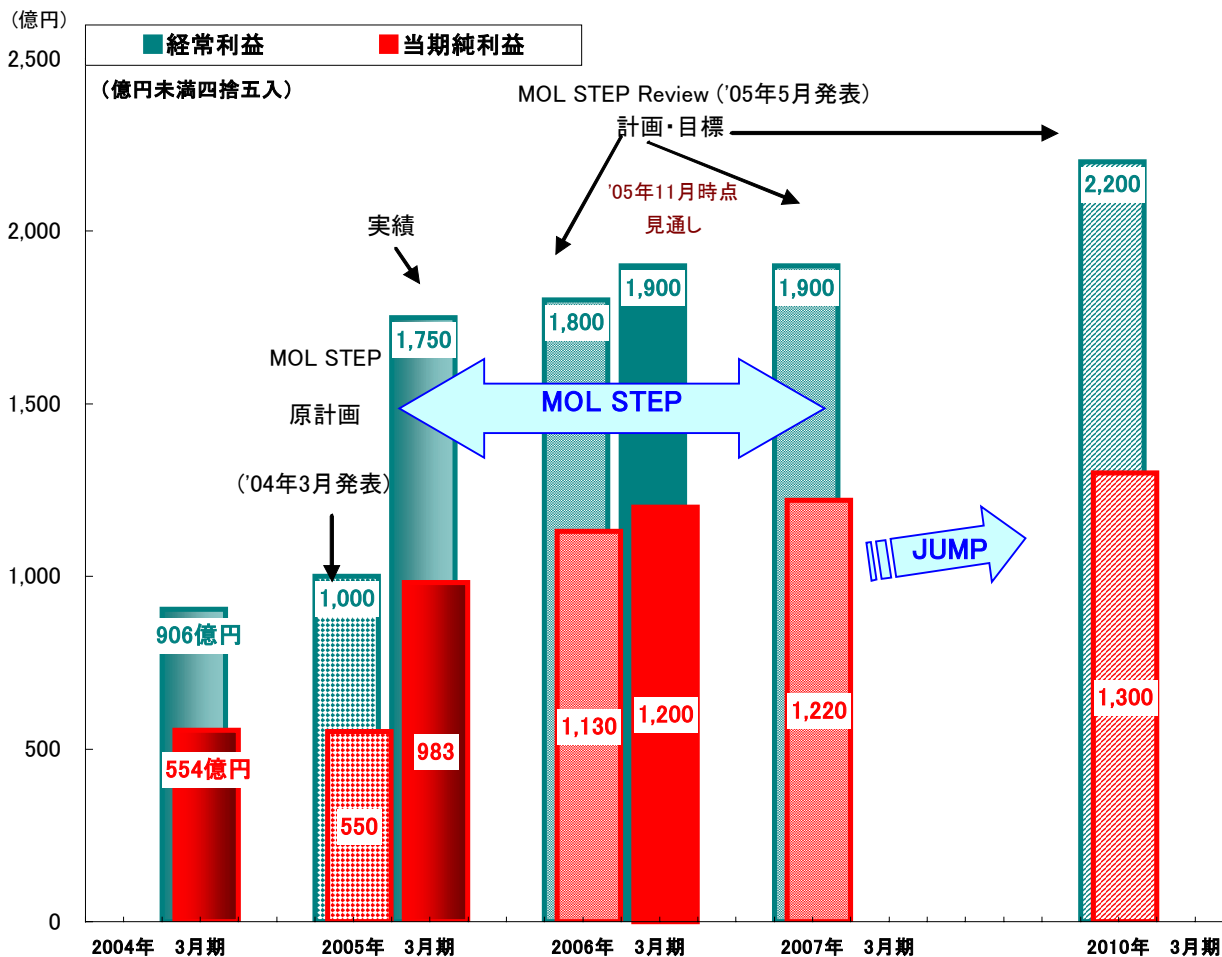
	保有		稼働		消席率			
	2005年度	下期	第4四半期					
2005年度	上期	第3四半期						
		第2四半期	760	1,485	587	1,149	77%	77%
2004年度	下期	第4四半期	726		561		77%	
		第3四半期	685	1,406	523	1,082	76%	77%
	上期	第3四半期	722	2,727	559	2,117	77%	78%
		第2四半期	685		530		77%	
2004年度	上期	第1四半期	635		505		80%	

自動車輸送台数

(1000台)

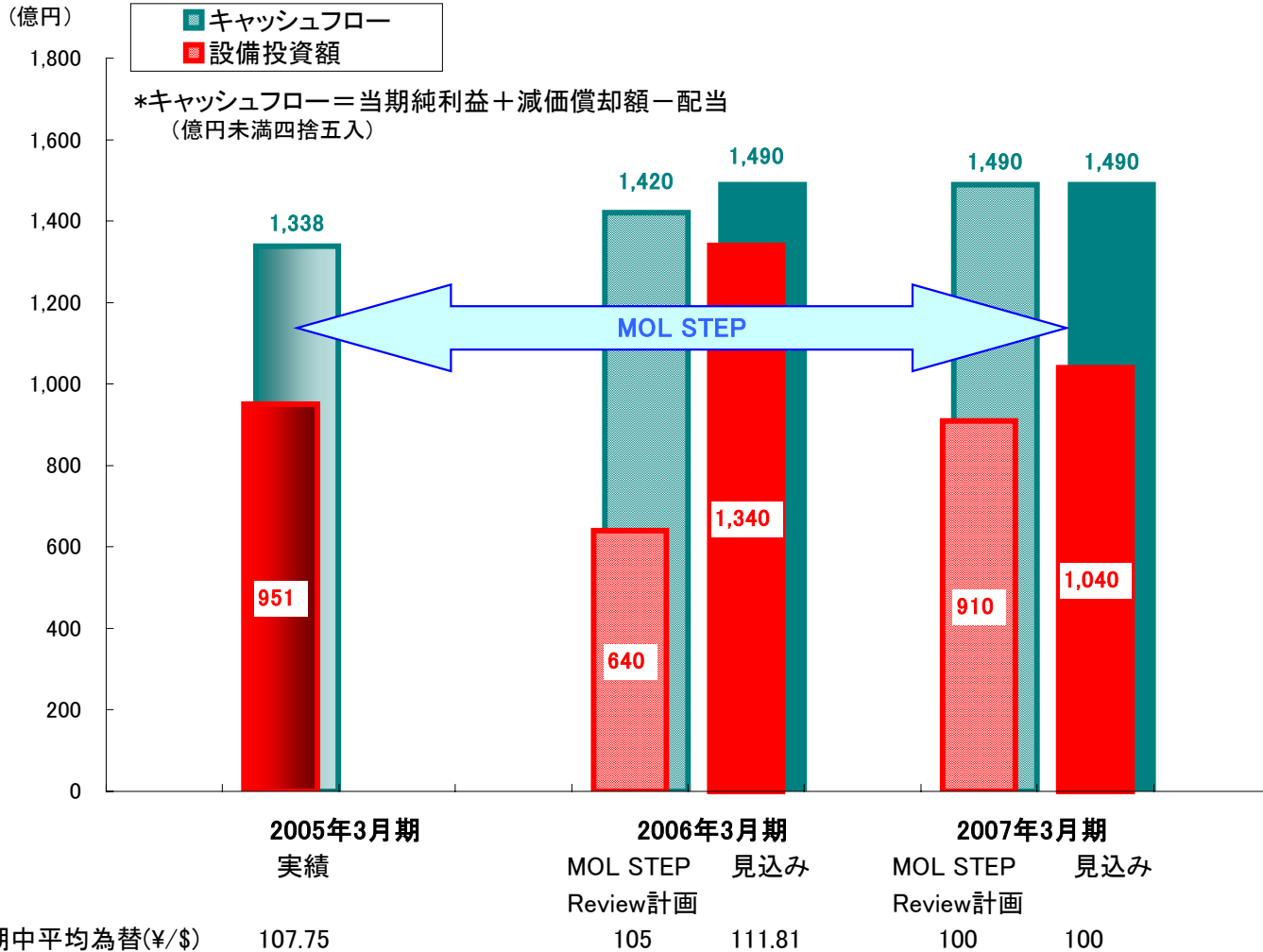
(完了ベース／航海備船を含む)	2005年度					2004年度
	第1四半期	第2四半期	上期	下期	通期	通期実績
			見通し(A)	見通し(B)	(A)+(B)	
合計	521	544	1,065	1,195	2,260	2,116

MOL STEP Review 利益目標

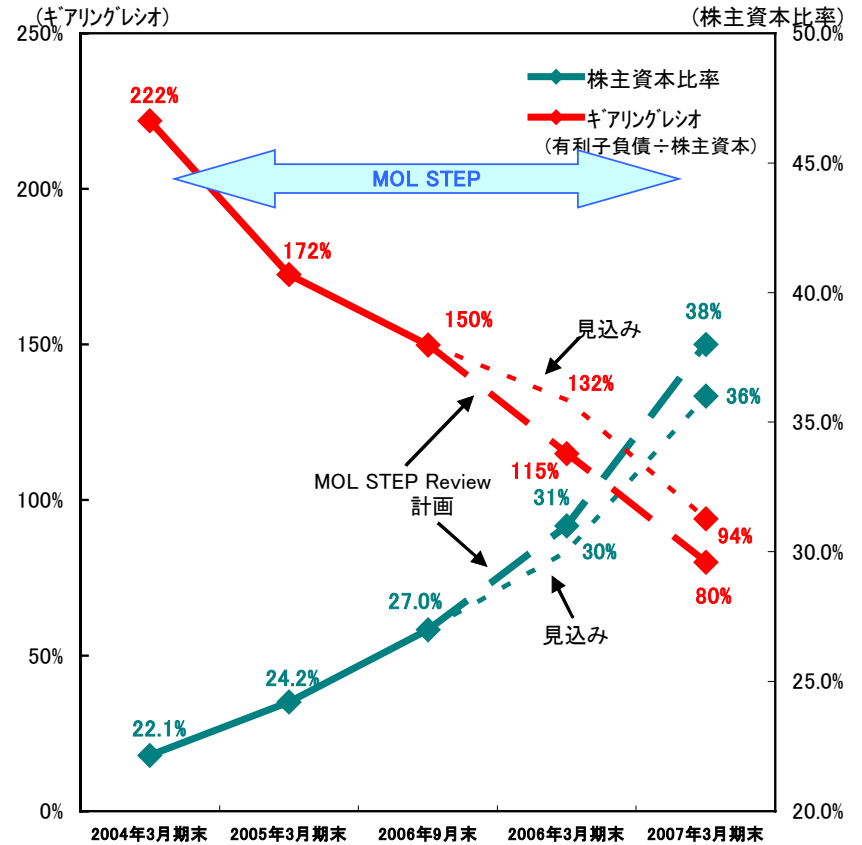
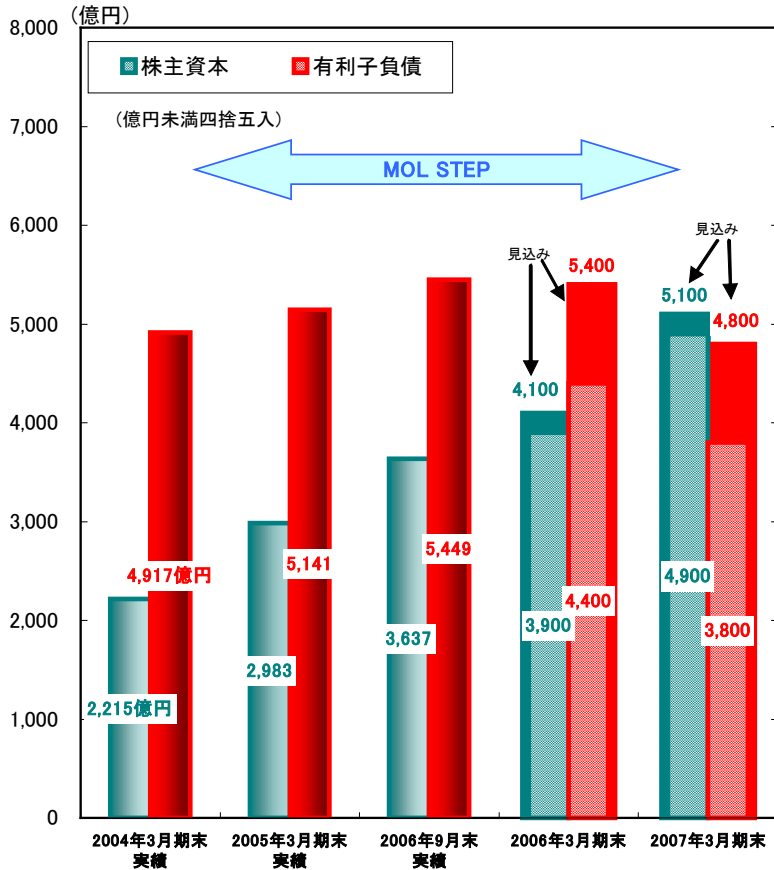


期中平均為替(¥/\$)	113.84	110(原計画)	107.75(実績)	105	111.81(前提)	100(前提)	100(前提)
平均ハンカ-価格(\$/MT)	178	150(原計画)	193(実績)	250	273(前提)	200(前提)	200(前提)
營業利益(億円)	921	1,050(原計画)	1,718(実績)	1,760	1,890	1,860	2,150

キャッシュフロー・設備投資



MOL STEP Review 財務目標



期末為替 105.69/107.13 107.39/104.21 113.19/110.62 115(前提) 100(前提)
 (¥/\$, 本体/仕組船)

コスト削減計画

* ()内はMOL STEP/MOL STEP Review計画値

(億円)

	2005年3月期 (実績)	2006年3月期 (見込み)**	2007年3月期 (計画)	合計
営業部門主体 (運航費、コンテナ経費等)	55 (40)	40 (20)	(20)	115 (95)
管理部門主体 (船舶経費、一般管理費、運転利息等)	40 (25)	40 (40)	(25)	105 (105)
合計	95 (65)	80 (60)	(45)	220 (200)
単体	80 (55)	65 (55)	(40)	185 (175)
グループ会社	15 (10)	15 (5)	(5)	35 (25)

**期初計画60億円に対し予定を上回るペースで進捗中：上期40億円／下期40億円